

平成 27 年度 第 5 回田平町地域協議会会議録

- 1 . 会 場 田平支所 3 階会議室
- 2 . 日 時 平成 28 年 2 月 25 日 (木) 13 時 30 分開会
- 3 . 出席委員 久原鐵男委員、岡斉委員、中村正利委員、長田康志委員、
松本一郎委員、永井正則委員、早田博子委員、須藤豊博委員、
安田豊委員、針尾郁子委員、小田浩吉委員、手島りつ子委員、
針尾幸一郎委員
- 4 . 欠席委員 中西正人委員、吉福弘実委員
- 5 . 職 員 山口龍一郎田平支所長、森川祐輔地域振興課長、
立石哲也地域振興課参事監、今村達也市民協働班長、
松本哲朗産業建設班長、百枝史朗教育委員会田平分室長、
千代延貴史地域振興課主査
- 6 . 議事録署名人 針尾郁子委員、針尾幸一郎委員
- 7 . 傍聴人の数 2 人
- 8 . 審議案件等の概略及び審議結果

13 時 30 分 開会

- (1) 開会
- (2) 支所長挨拶
山口支所長挨拶
- (3) 会長挨拶
久原会長挨拶

事務局

会議を進めていきますが、地域協議会の運営等に関する規則第 2 条の規定によ

りまして、議長は会長にお願いいたします。

会長

それでは、事務局から説明がありましたとおり、議長を務めさせていただきます。審議に入ります前に、本日の出席委員数は、15名中12名の出席で地域自治区の設置に関する協議書第9条の規定により半数以上の出席がありますので、会議が成立していることを宣言いたします。なお、中西正人委員、吉福弘実委員から欠席の届けがあります。また、永井正則委員から遅刻の届けがあります。続いて議事録署名委員の指名を行います。議事録署名委員は針尾郁子委員、針尾幸一郎委員を指名いたします。

(4) 報告事項

会長

それでは、会議次第にそって会議を進めてまいります。4番の報告事項に入ります。総務部行革推進課から、教育委員会の組織見直しについて説明をお願いします。

総務部行革推進課

教育委員会の組織見直しについて説明

会長

ただいま、総務部行革推進課から教育委員会の組織見直しについて説明がありました。何かご質問はありませんか。

委員

いままでは田平分室に行けば教育全般のことが相談できましたが、今後は相談窓口がなくなるということですか。

総務部行革推進課

相談部分については、教育委員会と話し合いながらやってきたところであり、その問題点については教育委員会で解決しているものであります。昔の分室でやっていた業務がだんだん減ってきて、生涯学習の方に特化されてきたというところで考えたものです。

委員

給食やいじめの問題は、特別のことがない限り学校教育課に直接行くことになるのですか。

総務部行革推進課

そもそもいじめの問題となれば分室ではなく、学校教育課で扱っているものがあります。

委員

決裁権はどうなるのですか。

総務部行革推進課

本庁の生涯学習課長となります。

委員

この組織の見直しによる大きなメリットはどのようながありますか。

総務部行革推進課

ひとつは地元のことを分かっている方を館長に据えられることがメリットと考えています。これからコミュニティ組織を作る中で公民館活動についても一緒にやっていくようになりますので、共にやっていただきたいという気持ちで考えたところです。また、人件費等が半分くらいに削減されます。

委員

民間の館長は公募ですか。

総務部行革推進課

公募ではなく選考することで考えています。

委員

見直した場合、市の予算の持ち出しは何割減となりますか。

総務部行革推進課

公民館活動費については変わりませんが、館長の人件費は半分くらい削減されます。

委員

本庁に集約され分室がなくなると、職員も減るのではないかと危惧しますが。

総務部行革推進課

分室と名称になっているものが、建物もありますし職員の頭数も変わりません。田平中央公民館という名称になるということです。

委員

今後の職員の呼び名は、田平分室職員ではなく田平中央公民館職員ということになるのですか。

総務部行革推進課

そのとおりです。

会長

他にございませんか。ないようでございますので質疑を終結いたします。ありがとうございました。

(5) 審議事項

会長

それでは、次に5番の審議事項に入ります。平成27年度まちづくり活性化事業交付金、たびら中瀬草原クロスカントリー大会、光のフェスタの実績評価につきまして事務局の説明を求めます。

事務局

これより平成27年度まちづくり活性化事業交付金たびら中瀬草原クロスカントリー大会及び光のフェスタの実績評価をしていただきますが、その前に採点の流れを説明いたします。

～採点の流れ説明～

以上、よろしく申し上げます。

会長

ただいま、事務局より審査の方法について説明がありましたが、何かご質問はありませんか。ないようですので、それでは審査に入ります。たびら中瀬草原クロスカントリー大会実行委員会の入室をお願いします。たびら中瀬草原クロスカントリー大会事業について、たびら中瀬草原クロスカントリー大会実行委員会からの実績報告をお願いします。時間配分は実績報告を10分、質疑応答を10分、採点を10分とします。それではお願いします。

たびら中瀬草原クロスカントリー大会実行委員会

これから、昨年 12 月 13 日に行いました、たびら中瀬草原クロスカントリー大会の実績報告をいたします。参加者増加に向けた取組みとしまして、本大会の競技参加者は第 10 回大会の 905 名をピークに近年の少子化により児童、生徒等の参加者が年々減少している一途を辿っています。このような状況を打破するため、5 年前から市内外の小中学校まで行き直接チラシを配布し参加者の奨励に努めました。市内の小中学生の参加者増加に向け、参加料の無料化に加え、スクールバスの運行により参加者の足の確保に努めました。このようなことから、近年の少子化による児童、生徒等の減少傾向にあって、参加者数は一定の成果があったものと思います。ちなみに今年度は昨年度より 38 名の参加者の増加がありました。今回の競技参加者は 624 名であります。それに加え一般参加者及び大会役員等を算入しますと 1,000 名を超える大会となりました。事業目的である、スポーツを通して、心のふれあいと青少年の健全育成、さらには、地域の活性化を図るため、たびら中瀬草原クロスカントリー大会を開催し、明るく住みよい町づくりに寄与することを目的とすることが十分に達成したものと推量されます。今後は、競技参加者の増加に向けた取組みを強化すると共に、田平地区に特化した大会運営を目指すことが課題であります。(様式第 1 号から第 3 号について更に詳しく説明)大会役員につきまして、構成団体の主なものとしては田平町体育振興会、スポーツ推進委員田平部会、田平町青少年健全育成会、田平町生活学校、交通安全協会、交通指導委員、総合型クラブたびスポ、市職員の田平支所、田平在住の職員にボランティアでお手伝いしていただいて大会を乗り切ったということです。以上です。

会長

報告が終わりましたので、質疑に入ります。ご質問ありませんか。

委員

参加者が増えて良かったですが、予算の執行で精算額が予算額をオーバーしているものがある。賃金はもってのほかである。予算を立てて交付金を申請しているのだから、使いきりではなく、計画性を持って執行していただきたい。参加者に対して交付金が多すぎると意見します。

委員

参加申込の状況の中で、いろんな大会において、必ず子供が減少しているから参加者が減少していると言われるが、この申込区分で障がい者の方が参加できる区分を設けたがよいと思う。今年は参加者が増えたと言われたが、いずれまた減ると思うので、障がい者の参加を検討していただきたい。

たびら中瀬草原クロスカントリー大会実行委員会

障がいの程度にもよりますけども、特に中瀬草原ですのでコースが平坦でないため、ある程度限定された方になると思いますけど、障がい者の方も参加できるような環境も整えていかなければとも思いますので、今後の検討課題といたします。

会長

他にございませんか。ないようですので質疑を終結いたします。たびら中瀬草原クロスカントリー大会実行委員会の退室をお願いします。それでは、お手元の評価表にご記入をお願いいたします。採点が終わりましたら評価表を回収させていただきます。

～評価中～

会長

つづきまして、光のフェスタ事業の審査に入ります。光のフェスタ実行委員会の入室をお願いします。光のフェスタ事業について、光のフェスタ実行委員会からの実績報告をお願いします。時間配分は実績報告を10分、質疑応答を10分、採点を10分とします。それではお願いします。

光のフェスタ実行委員会

光のフェスタ2015ということで事業を行いました。事業期間としては、12月5日土曜日にオープニングをしまして、翌年1月11日の成人の日まで点灯を行いました。今年の目標としては、光のフェスタの認知度向上と今後活かせるイベントの拡充を目標に活動しました。広報活動は、従来どおり県北広報室への投げ込みや市内の区長便にお願いしまして、各公民館にポスターの掲示、平戸市の観光案内所40ヶ所にもポスターの掲示、松浦鉄道さんの協力もありまして、MR列車の中吊り15両、有人駅10ヶ所にもポスターを掲示しています。また、ファミリーマートさんの協力により県北地区40ヶ所の店舗、協賛いただいた企業、商店の店頭と公共施設50ヶ所等にポスター掲示を中心に広告をさせていただきました。また、無料情報誌2誌にイベント広告を出しました。広告費はポスター作成しかないので、お金がかからないようにポスター掲示としています。今年は長崎新聞社さんより、まちづくり特集の取材を受け、11月25日付けの特集記事を掲載していただきました。オープニングイベントについては、過去最高の来場者数を記録いたしました。予想外のところが多くて、グラウンドを駐車場にしましたが、グラウンド内の駐車場整理が難しかったところとサンタさんのプレゼントも子供の半分しかお菓子が配れなかったのが、子供たちがかわいそかったです。来年はいろいろと予算を工夫

しながら、実施したいと思います。また平戸瀬戸市場さんに声かけをしてオープニングの時の出店をお願いしたところ、快くお受けいただきまして3店舗出していただきました。それと、地域おこし協力隊の協力で光るキーホルダー作りをしていただきました。好評の内に終わりました。協力というところと言うと、サードベースカフェの力武さんからオープニングの時の声かけをいただきまして、期間中にライブをしたいということで、1月10日の日曜日に夜7時から9時までの2時間、平戸一番音楽祭ドサ廻りライブイン光のフェスタということで、出演者と来場者を合わせて60人ぐらいいたと思いますが、ちょっとしたライブをすることができました。こういった繋がりです。今後いろんな団体とイベントをできればと思っています。実際、実行委員のメンバーが少ないもので、実働部隊を市観光課にお願いして、学生のボランティアにオープニングは手伝っていただき、市の職員さんにも手伝っていただいて何とか回している状態です。イルミネーションの動線というところで、なかなか桜並木の所が暗く来場者の方が途中で帰ってしまうところがあって、今回は所々にイルミネーションを設置して、スムーズに展望台まで来場者の皆さんを誘導できたと思っています。今後ですが、商店街との絡みをどうしていくかということが課題でありましたが、今年は企画では少し上がりましたが、予算の問題や時間がなくてできなかったのですが、商店のレシートを含めた企画を来年は実施していきたいと考えています。来年に向けてフォトコンテストも行い、親和銀行さん、田平支所さんに掲示しました。以上です。

会長

報告が終わりでしたので、これより質疑に入ります。ご質問ございませんか。

委員

サンタさんのプレゼントがもらえなかった子供たちに後日何かしたのか。

光のフェスタ実行委員会

後日特にしていません。当初200個限定ということでポスターにも掲載していましたが、実は少し多めに250個用意していました。今年は予想以上に子供が多く、全員に配れなかったのが現状です。

委員

最初小さなイベントが年々大きくなって、今回はどこでもポスターが貼ってありました。だから多くのお客さんが見えたのでしょう。ご苦労されたのと思います。ただ、企画が男性的なので、光のフェスタですから、夢やファンタジーなどが想像できるものがあればいいと思います。記念に残るものがあればと思いますが、今回

は光るキーホルダーを作られたとか、あとはイベントですね。例えば、プロポーズ大作戦をされるカップルがいませんかだとか募ったりして、何か光の中でのイベントを考えられて夢のあるような来年 10 回目にしていただきたいと思います。あと、平戸のホテルが夜に観光地をバスで案内される場所がありますので、そのコースに光のフェスタを入れてもらうこともいいのではと思います。

光のフェスタ実行委員会

婚活に関しては、平戸に協議会があるので話してみようと思います。

委員

少ない交付金の中で長期間開催しスタッフも大変だったろうと思います。スタッフの方々に敬意を表します。今後も田平の目玉としてのイベントに育っていけばと思います。

委員

このイベントは地元の活性化、将来的には平戸市全体で取り組める観光事業の一環とされていますが、観光で来られた方と市内の方の比率はどれくらいですか。

光のフェスタ実行委員会

アンケートはしていませんが、市外の方が増えた印象があります。近隣の佐世保、松浦の方が増えたようです。

委員

今後は地域の人をいかに呼び込むのかも課題だと思います。

光のフェスタ実行委員会

固定のファンが増えたのは感じています。町内に向けても力を入れていきたいと思っています。

委員

親も楽しめるイベントがあればと思いますが、例えばコタツを用意するなど、寒さをしのぐ対策をすれば、滞在時間も長くなると思います。今年は焼き芋が大好評だったと聞きました。

会長

他にございませんか。ないようですので質疑を終結いたします。光のフェスタ実

行委員会の退室をお願いします。それでは、お手元の評価表にご記入をお願いいたします。採点が終わりましたら評価表を回収させていただきます。集計につきましては時間を要しますので、結果が分かるまで休憩といたします。

〔休憩〕

会長

それでは再開いたします。集計結果が出ましたので、事務局からの報告を求めます。

事務局

集計結果を報告します。たびら中瀬草原クロスカントリー大会事業について、地域協議会の評価といたしまして、合計平均 80 点であり、総合評価 A 大変評価できるとなります。また、評価コメントにつきましては、地域に密着した行事であり、特に問題ないと思う。県外、市外の参加者もあり継続してほしい。参加者増加の企画として、有名ランナーの招待など目新しい企画を行ってみてはどうか。教育委員会の組織の見直しがあり、今後の開催が今までどおり開催できるのか心配です。市交付金が多すぎる。参加料なしでバスを借上げたり、参加賞を配ったりは疑問である。平戸市の経済活性化に少しは効果があるのだろうか。今後はたびスポの行事とはされないだろうか。会場周辺の住民の参加が少ない。販売する品目を増やす。町内の小中学生への参加賞のタオルはいらないのではないか。現状の出走順だと小学生が 11 時までいなくてはならないので、コースを改善するなどして同時スタート等を考えてほしいとの評価コメントがありました。つぎに、光のフェスタ事業について、地域協議会の評価といたしまして、合計平均 92 点であり、総合評価 A 大変評価できるとなります。また、評価コメントにつきましては、子供へのプレゼントを配布できない方への対応をもう少し考えていただきたい。関連イベントの内容、出演者選定を充実されたら、更に大きなイベントになるのではないのでしょうか。イベントとしては年々華やかで良くなってきていると思うが、一般への周知がまだ不足しているのではないか。今後も続けてください。冬のイベントとして、今後も続けてください。市交付金を増やしてあげたい。今後ポスターに広告など載せて、協賛金をいただけたらどうでしょう。頑張っていच्छるので、今後も続けてほしいです。交付金の増額も考えていいのではと思いますとの評価コメントがありました。以上、評価結果の報告を終わります。

会長

それでは次に、審議事項(2)その他 次年度のたびら春まつり事業計画(案)について、事務局の説明を求めます。

事務局

平戸市まちづくり活性化事業交付金の交付対象事業である、たびら春まつり事業について、昨年8月4日に開催いたしました第3回地域協議会で実績評価をしていただきました。その報告の際に、たびら春まつり実行委員会から次年度については、装いも新たなたびら春まつりを行うとの報告がありました。毎年、たびら春まつりについては、新年度に入ってすぐの事業ということもあり、4月の地域協議会で事業審査をしていただいております。たびら春まつり実行委員会から、今回、新たなたびら春まつりを開催することから、新年度に入ってから広報活動を行っては集客が見込めず、たびらのまちづくり活性化に寄与することができないものと考えられることから、前もって事業計画(案)を地域協議会に提案を行いたい旨のお願いがありました。昨年11月19日に開催いたしました第4回地域協議会におきまして、次年度のたびら春まつり事業計画(案)について、たびら春まつり実行委員会から提案があり、地域協議会としては、次年度のたびら春まつり事業計画(案)の採決を行った結果、否決されたところであります。そこで、再度たびら春まつり実行委員会から、前回の事業計画(案)から内容の変更を行った次年度のたびら春まつり事業計画(案)について、地域協議会に提案を行いたいとのことでもありますので、審議をお願いいたします。以上でございます。

会長

ただいま、事務局から説明がありましたとおり、再度たびら春まつり実行委員会から、前回の事業計画(案)から内容の変更を行った次年度のたびら春まつり事業計画(案)について提案を行いたいとのことでもあります。それでは審議に入ります。たびら春まつり実行委員会の入室をお願いします。たびら春まつり事業計画(案)について、たびら春まつり実行委員会からの説明をお願いします。

たびら春まつり実行委員会

最初に資料の訂正をお願いします。資料中の全てですが、第1回を第39回に訂正と、たびら瀬戸の春まつりの瀬戸のを全て削除をお願いします。それでは、たびら春まつりについて説明をさせていただきます。前回の地域協議会で提案したたびら春まつり計画案について、春まつり実行委員会および企画部会で協議しましたので、再度提案します。では、レジメに沿って説明させていただきます。変更点のみ説明させていただきます。変更点には網掛けしています。3の後援について、

マスコミ各社、各テレビ局、各新聞社、佐世保ケーブルテレビ等に依頼をしています。4の期間について、4月23日土曜日11時から17時まで、24日日曜日9時から17時までとします。5の会場についてですが、会場配置については平戸魚市敷地一帯とします。小型テントを23日土曜日9時から各自持ち込みで設置することとします。駐車場についてですが、田平港シーサイドエリアと家畜市場を春まつり駐車場とします。シャトルバスを会場から家畜市場へ運行することとします。会場周辺一帯に駐車場として敷地の借用を依頼していますので、その駐車場についても記載させていただいています。ステージイベントの魚つかみ取り会場を平戸魚市敷地としています。商店街イベントとして日の浦商店街スタンプラリーを予定しています。食のイベントとして焼台等の貸し出しを行います。5の内容の催し物についてですが、メインイベントについては、新たな企画を記載させていただいています。鮮魚の箱詰め販売、鮮魚物流パネル展、田平産品を食するコーナー、日の浦商店街スタンプラリーについて掲載しています。鮮魚の箱詰め販売は鮮魚を箱詰めにし、平戸魚市内で路上に並べて販売するものです。市場内の雰囲気等も味わってもらえるものと思います。鮮魚の物流パネル展については、市場について身近に知っていただくために鮮魚の物流について展示するものです。田平産品を食するコーナーでは出店者から購入してもらった農水産物を七輪で焼いてその場で食してもらいます。これまで春まつりで実施してきた各学校によるステージイベント、テニス大会、職人組合によるイベント等実施する予定です。9の事前準備等については、実行委員会と企画部会を記載のとおり実施しています。また、関係団体の協力で事前協議を記載のとおり実施しております。協議については、企画部会、実行委員会にて計画案を協議しております。また、実行委員会については、田平町外の出店者等も含めて実施をしていましたが、最終の実行委員会は本来の実行委員である田平町内の実行委員12名により協議をしていただきました。10の出店関係については記載のとおりとなっています。昨年度比較の出店者表となっています。ご覧のとおり、全体での出店は昨年度と同程度となっており、田平町内の出店者は増加しております。また、食に関する出店者についても増となっております。表には含まれていませんが、地域おこし協力隊、平戸瀬戸市場に出店している業者にも出店参加していただく予定です。出店料については、2日間で1コマ町内業者5,000円、町外業者7,000円を負担していただくこととしています。田平町青年団、北松農業高校、身障者協会、平戸魚市については出店料を免除することとしています。日の浦商店街スタンプラリーは日の浦商店街一帯にスタンプを設置し、各店舗を回ってスタンプを押してもらい、会場にて三角くじを引いてもらうもので今までの春まつりと違い、商店街も一体となって春まつりに参加してもらいます。ステージイベントについては例年どおり実施します。出店については町内外業者と詳細に協議をします。広報は各報道機関へ広報依頼を行います。佐世保ケーブ

ルテレビには出演依頼をしております。また、各新聞社へも広報依頼を行います。企画部会での協議事項を口頭で説明させていただきます。駐車場の変更については、シーサイドエリア駐車場以外は家畜市場のみとする。会場周辺の敷地について、青洲会病院、県漁連、大坪建設様の借用の了承をいただいているので、それらについては地元の方に駐車していただくこととする。シャトルバスは家畜市場までを20分間隔で運行する。交通整理については、瀬戸市場前について警察署と協議し承認をいただいているが、詳細は交通安全協会と協議する。テントは各自が持ち込む。ステージは10トントラックをステージとして借用する。動線の確保として、西端夢浪漫前の会場入り口付近にのぼりを設置する。また、国道沿いに案内看板を設置する。物販関係を平戸魚市建屋の軒下に配置する。これについてはその後の実行委員会で、苗木の積み込み等を考えて青洲会病院側のスペースがいいという意見が出ておりますので、そのように配置を協議します。会場の終了時間を17時と合せる。出店関係については、出店料を2日間で1コマ町内5,000円、町外7,000円とします。今後出店者を増やすことについては、西端夢浪漫、平戸魚市仲買様の出店の了解をいただいています。また、魚つかみ取りについては平成27年度決算に合せて80,000円計上する。以上が企画部会で決定した主な事項です。その後の実行委員会でこれらの事項を協議修正し、計画案を作成しております。続いて10ページをご覧ください。予算について説明します。歳入から説明します。平成28年度予算のみ読み上げさせていただきます。繰越金52,247円。交付金1,380,000円、平成27年度決算と比べて120,000円の減。協賛金200,000円、平成27年度決算と比べて120,000円の増、内訳は商工会40,000円、観光協会30,000円、スタンプクラブ10,000円、瀬戸市場100,000円、西端夢浪漫20,000円となっています。他にサムソンホテルから協賛金、宿泊割引券等協力いただくこととなっています。参加負担金209,000円、平成27年度決算と比べて317,800円の減。これは出店者負担金ですが、前回出店者売上高の10%としていましたが、今回1コマ5,000円、町外出店者は7,000円としています。牛肉販売収入2,217,000円。雑収入75,753円、内訳はテニス参加費50,000円、預金利子753円、イベント売上25,000円となっています。イベント売上は魚つかみ取りの収入です。歳入は合計4,134,000円です。歳入全体で344,101円の減となっています。次に歳出を説明します。報償費154,000円、平成27年度と比べて10,626円の増となっています。内訳はイベント出演謝礼、物品借用謝礼となっています。需用費844,000円、平成27年度と比較して70,591円の減。内訳は看板等、チラシ作成、イベント商品、燃料費、食料品等となっています。全般的に少しずつ削減しています。役務費62,000円、平成27年度と比較して1,672円の増。内訳はイベント保険、振込手数料、切手代となっています。委託料747,000円、平成27年度と比較して170,520円の増となっています。内訳は電気工事、夜間警備、駐車場警備、牛肉さばき代となっています。これ

は舞台設置の予算を計上したため増としています。借り上げ料 472,000 円、平成 27 年度と比較して 460,852 円の減。内訳はテニス大会田平公園使用料、放送設備借上げ等となっています。これは今回からテントを出店者持ち込みとしたため、大幅に減額となっています。原材料費 1,805,000 円、平成 27 年度と比較して 6,771 円の増。内訳は牛肉材料費、ブックスタンド材料費等となっています。予備費 50,000 円、これは新年度に新たに予算計上しています。歳出全体で 291,854 円の減となっています。歳出は合計 4,134,000 円です。以上で説明を終わります。

会長

説明が終わりましたので、質疑に入ります。ご質問ありませんか。

委員

7 ページのスタンプラリーで、いつのレシートでもいいと書いてありますが、これで実行するのですか。

たびら春まつり実行委員会

いつのレシートでもいいと記載していますが、今後協議をして修正させていただきます。

委員

会場の位置図ですが、食品を販売される方もいますが、保健所の許可は一括して行うのですか。それとも個人で行うのですか。

たびら春まつり実行委員会

個人での申請となります。

委員

昨年まで出店していた方の出店がありませんので、今回内容が確定していきましたので、再度出店の話をしていただいて、町内の出店者を増やすようお願いします。

たびら春まつり実行委員会

出店者につきましては、現在協議している団体であります。昨年まで出店されていた方とも今後協議をしていきます。

委員

交付金については、3月の臨時会で決定するのか。それともこの会で決定するのか。

事務局

たびら春まつりについては4月下旬の開催であり、3月決定では準備等が間に合いませんのでこの会で決定していただきたいと思います。

会長

他にございませんか。ないようですので、これで質疑を終結いたします。本来、新年度の交付金については、3月の臨時会で交付金の配分を仮決定するところがありますが、たびら春まつり事業につきましては、この会議で交付金の配分を仮決定するというごこと、ご異議ございませんか。

(「異議なし」と言う者あり。)

異議なしということでございます。それでは、たびら春まつり事業計画(案)について、採決いたします。たびら春まつり事業計画(案)について、賛成の委員の挙手を求めます。挙手全員でございます。よって、本案につきましては、可決されました。

(6) その他

会長

それでは次に6番のその他です。次回の会議の開催ですが、8月4日の第3回地域協議会において、田平つばき物産展事業の実績評価及び平戸市まちづくり活性化事業交付金の配分を仮決定する会議を3月に臨時会として召集することが決定いたしております。そこで、臨時会を3月28日月曜日午後2時から田平支所で開催いたしますのでよろしくお願いいたします。それでは、以上をもちまして平成27年度第5回田平町地域協議会を閉会いたします。お疲れ様でした。

17時30分 閉会

9. 会議録の公開・非公開 公開

10. 会議資料等の名称及び内容

平成27年度第5回田平町地域協議会会議次第

平戸市まちづくり活性化事業交付金要綱
平戸市まちづくり活性化事業交付金審査要領
平戸市まちづくり活性化事業交付金事業評価要領
平成 27 年度まちづくり活性化事業交付金実績報告に係る評価
平成 28 年度「第 39 回たびら春まつり（仮称）」実施計画（案）

11. 会議録の作成者の職氏名 平戸市田平支所地域振興課
主査 千代延 貴史

12. その他 この会議録は、地域協議会の運営等に関する規則第 18 条第 2 項の規定により、要点記録とする。

平成 28 年 2 月 25 日

会議録署名人 針尾 郁子

針尾 幸一郎